

## 麻生区区民会議 第3回全体会議 議事要旨

1 開催日時 平成25年2月25日（月）午後3時～午後5時14分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

菅原委員長、石井副委員長、東川副委員長、加賀美委員、金光委員、久保倉委員、菅野委員、村主委員、高倉委員、高橋委員、武濤委員、田中委員、長谷川委員、東川委員、矢野委員、山田委員、吉田委員

(欠席) 飯塚委員、梶委員、高瀬委員、横山委員

[参与]

(欠席) 雨笠参与、尾作参与、勝又参与、木庭参与、月本参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、吉田参与

[事務局]

安生課長、白石担当係長、佐伯、川里、藤江

[関係者]

瀧峠区長、中山副区長、小沼区民サービス部長、澁谷道路公園センター所長、大西保健福祉センター副所長、小林子ども支援室長、猪瀬生涯学習支援課長、杉山総務課長、田中地域振興課長、山田危機管理担当課長

4 傍聴者 1人

5 議事

(1) 調査審議課題等について

ア) 安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について

【説明事項】安全安心部会の村主部会長より、検討内容の経過を報告（資料1-1、1-2）

- ・「大規模地震が起きたときに、公助が立ち上がるまで、自助、共助により助かる命を守ることが重要」との考えから、「大地震から助かる命を守る」を審議テーマに決定した。
- ・最大震度6強～6弱、冬の平日18時の地震を前提に、麻生区における火災による死者20人、建物倒壊による死者20人、合計40人の想定死者数をゼロにすることを目指して調査審議する。
- ・3つの最優先テーマ①「家屋の倒壊防止」②「家具の転倒防止」③「火災予防、火事発生への対応」と、次の段階で取り組む2つの優先テーマ④「災害時要援護者等への対応」⑤「負傷者、生き埋め者の救助」を設定した。
- ・議論を整理するため、資料1-2「具体策検討シート」を作成し、自助・共助・公助・企業市民ごとに、実施中の対策と今後考えられる対策を「事前対策」と「緊急対応」にわけて集約し、これにより具体策を網羅的に洗い出すことができ、漏れなく整理することができた。
- ・今後の取り組みとして、自主防災組織へのヒアリングの実施や、モデル事業の実施と検証、学校教育との連携、PRイベントの実施などを検討している。

(主な意見)

- ・3つの最優先テーマと2つの優先テーマについては、整理の都合上でそれぞれ番号をつけて

いるが、実際には番号順に取り組んでいくわけではない。

- ・現在のテーマで早く結果がでれば、次のテーマに移り取り組んでいく。

#### イ) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の検討経過及び意見交換について

【説明事項】若者魅力部会の山田副部長より「子育てしやすい環境づくり」について、石井部会長より「芸術文化のまちづくり」について、それぞれ検討内容の経過を報告（資料2-1、2-2）

- ・高齢化が加速し、若者が減少していく中で、中核となる若者が住みたくなるまちづくりを進める必要があるとの考えから「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」の2テーマを設定した。

##### 【子育てしやすい環境づくり】

- ・対象とする若者を20代から40代の子育て世代に絞り込んだ。
- ・子育てしやすい環境とは、「安全で安心に暮らせる、地域社会・ご近所とつながりが深い、教育・介護の質が高い、地域社会で子育てを支える、少年のときから地域への愛着を育める、緑・農業がある、スポーツがある」という前提を設けた。
- ・既往の統計データの調査や、昭和音楽大学で開催された親子コンサートでのアンケート調査の実施結果などから、「未就学児の子育て世代を支援する多様な保育の展開」を優先課題に決めた。
- ・今後の取り組みとしては、区内の子育てグループ、団体等への聞き取り調査や他都市の取組事例との比較などを行い、具体的取組を検討する。

##### 【芸術・文化のまちづくり】

- ・第3期で提言した「文化担当課の設置」「(仮称)麻生文化会議の設置」「景観形成条例の見直し」の3つのテーマを継承し、展開していく。
- ・これまでに、第3期取り組みの振り返り、新百合ヶ丘地域活性化委員会の報告書とアンケート結果による課題の把握と検討、行政の取り組みの報告等を受けた。
- ・今後の展開として、①「芸術・文化施策が継続的に取り組まれ、地域の芸術家や団体の広報を連携して点から面として情報発信を図るネットワークを構築し、子どもから大人まで楽しめる芸術・文化のまち」と②「芸術・文化を通じた若者・子どもの育成」の2つの視点で審議を進めていく。

#### (主な意見)

- ・資料2-1の中段左側の各テーマの後に(仮説)とあるが、これの意味するところは何か。
  - ⇒「子育てしやすい環境づくり」や「芸術・文化のあるまちづくり」を進めることによってまちが活性化するのではないかという想定であって、確証ではない。よって仮説としている。
  - ⇒一般的に仮説とは、何らかの現象や法則性を説明するための命題であり、ここで仮説を用いると、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」のつながりを「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」に求めなければならなくなり、かえって混乱を招くのではないか。
  - ⇒意見については部会の中で再度審議する。

#### ウ) 企画部会の検討経過及び意見交換について

【説明事項】企画部会の金光部会長より、検討内容の経過を報告（資料3）

・区民会議の認知度向上を目的に、地域の主要メディア3社に足を運び、協力を要請した。結果、現在まで3回に渡って区民会議の取り組みが掲載された他、1社からは3ヶ月毎の定期的な掲載が約束されるなど協力が得られた。

・3月に発行予定の区民会議ニュース第2号は、1面を安全・安心部会からのトピックニュースとし区民の興味をひく構成にする。次の第3号では若者魅力部会の記事を1面で扱い、6月から7月に発行する予定。

・2月14日に開催された区民会議交流会について報告。区民会議に関する思い入れや発足の経緯等に関して市長講話があった後、認知度向上をテーマに7区の委員が検討や情報交換を行った。

・高倉安全安心副部会長の企画部会入りについて提案。企画部会の現状は、若者魅力部会から4人、安全安心部会から2人の6人で構成しており、部会間で偏りがある点などから、高倉副部会長の企画部会への推薦について提案する。

#### 【決定事項】

・高倉委員が企画部会に加入することについて承認された。

◆村主委員より、安全安心部会の調査審議を進めるにあたっての質問があった。

【質問事項】部会ではモデル事業の実施等を検討しているところだが、1点目に、区民やいろいろな団体等への協力を仰ぐときに区がその役割を担ってもらえるか。2点目に、通常の調査審議で想定する以上の出費があった場合にも認めてもらえるか。

【区からの回答】関係機関への協力要請については、区民会議事務局としてできるだけの協力をしていく。費用負担については、ここで即答はできないが、具体化したときに相談してほしい。また、防災の関係については自主防災組織や町内会、自治会で既に行っている取り組みもあるので、それらとの事前調整等もお願いしたい。

## (2) その他

### ア) 第3期区民会議提言への取組状況の報告

【説明事項】事務局より、第3期区民会議提言への区役所の取り組みの進捗状況について説明(資料4)

<審議テーマ「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」>

・「市政だより特別号の発行」の提言への取り組み

⇒市政だより特別号発行の準備を進めており、4月1日発行、部数8万3500部、全世帯ポストイングと区内転入者への配布を予定している。

・「地域活動を担う担い手の発掘と育成」の提言への取り組み

⇒昨年10月に生涯学習推進会議のプロジェクトチームを設置し、検討しており、今年度中に報告予定。

<審議テーマ「芸術・文化のまちづくり」>

・「(仮称)麻生区文化会議の設置」の提言への取り組み

⇒芸術ネットワークの平成26年度中の設置に向けて関係部署、団体と協議を進めている。

<審議テーマ「循環型のまち・生ごみリサイクル」>

- ・「生ごみリサイクル講習会を定期開催」の提言への取り組み  
⇒環境局と連携し3月21日に麻生区役所で開催予定。25年度も企画課で開催を予定している。
- ・「市民農園に優先枠」の提言への取り組み  
⇒関係部署と協議の結果、すぐに優先枠を作ることは難しいが、市民農園利用者に生ごみリサイクル講習会を案内し、市民農園で生ごみ堆肥を使ってもらうことを促している。

<審議テーマ「グリーンアップ・里山ボランティア」>

- ・「地域に限定されない里山ボランティアの構築」の提言への取り組み  
⇒地域課題解決型提案事業として「里山ボランティア事業」が24年度に9回の作業を実施し、結果報告と意見交換を行う「緑の討論会」を3月2日に開催予定。25年度も提案があり、採択されれば継続で実施される。

イ) 里山ボランティア事業への協力依頼について

**【説明事項】** 第3期区民会議委員の天野氏、勝田氏より、里山ボランティアの活動内容と協力依頼の趣旨について説明（資料5）

- ・区民会議の提言から派生した事業ということで区民会議からの協力をいただき、チラシなどへ「協力：区民会議」と記載させてほしい。
- ・第4期～、第5期～などと各期毎ではなく、「麻生区区民会議」の協力という形にしてほしい。

**【決定事項】**

- ・「麻生区区民会議」として里山ボランティア事業へ協力し、チラシへ掲載することを承認した。
- ・委員は、実際に事業に参加したり、チラシを知人や団体へ配布して宣伝する等の協力をしていく。
- ・次期以降の区民会議への説明は、事務局が同様の案件をまとめて引継ぎ、説明していく。実施団体からは各期毎に説明はしない。

(主な意見)

- ・申し込めば関係のない団体からも協力依頼がある可能性があり、区民会議のメンバーが参加しているなどの条件を決めておいた方がよいのではないか。  
⇒メンバーの参加というよりは、区民会議の提言の実現に向けて行われているかどうかが基準ではないか。簡単に決められることではないので、個別に検討していった方がよいのではないか。

ウ) 麻生区地域課題解決型提案事業審査委員の選出について

**【説明事項】** 事務局より、地域課題解決型提案事業と審査委員選出の趣旨について説明（資料6）

- ・24年2月に第3期区民会議委員として金光委員が就任したが、第4期区民会議から改めて選出を依頼。

**【決定事項】**

- ・引き続き金光委員を選任することについて承認された。

エ) 区制30周年記念事業実行委員会委員の選出について

**【説明事項】** 事務局より、区制30周年記念事業と実行委員会委員選出の趣旨について説明（資料7）

- ・第3期区民会議委員として武濤委員が就任したが、第4期区民会議から改めて選出を依頼。

**【決定事項】**

- ・引き続き武濤委員を選任することについて承認された。

**オ) 第4期麻生区区民会議開催日程について**

**【説明事項】**菅原委員長より、第4回全体会議の日程はスケジュールどおり、5月20日（月）に開催することを確認（参考資料1）

- ・区長からあいさつ